



“茅の輪”と“夏越の祓”と“紫陽花守り”

6月になると梅雨の季節となり、少しずつ夏が近づいてくるのを感じますね。今回は6月下旬の神社で、草でできた大きな輪について深掘りしていきます。これは“茅の輪^(ちのわ)”と呼ばれるもので、千萱(チガヤ)という植物で作られています。茅の輪は、罪や穢れを祓うための伝統行事の一つです。古来より、日常生活の中でさまざまな穢れが生じると考えられてきたため、茅の輪を使って罪や穢れを祓う“大祓(おおはらえ)”が年に2回行われるようになりました。12月は人々が心身を清めて新しい年を迎えるための準備としての“年越しの大祓”，そして6月末に行われるこちらのものは、“夏越(なごし)の祓”と呼ばれています。

茅の輪は、左回り→右回り→左回りと8の字を描くように3回くぐり、今年前半の穢れを祓い後半も無事に過ごせるように願います。ただし、神社によって作法が異なることもあります。地域によっては茅の輪の代わりに“形代(かたしろ)”を使って祓いを行うところもあります。形代は、人の形をした紙や藁でできた人形に穢れや災いを移し、川や海に流す、あるいはお焚きあげをして祓い清めます。いわゆる人形が厄を代わりに引き受けてくれるという“身代わり信仰”ですね。平安時代には、安倍晴明も形代を占いに使っていたとされています。

他にも、6月の邪気払いの一つとして“紫陽花守り”があります。紫陽花の花枝を和紙や半紙で包み、紅白の水引で結びます。包みの中には、生年月日、名前、願い事を書いて入れ、軒下や玄関に吊すと良いとされています。紫陽花守りは、金運を高め災いを避けるなど、地域によって異なる力を持つと考えられています。紫陽花は6月の代表的な花であり、雨に濡れる大きな花を眺めるのも風情があります。一つ手折(たお)ってお守りを作ってみてはいかがでしょうか。広地区の皆様が年の後半をつつがなく過ごせることを願っています。館長・細川



令和7年



毎月10日発行 №341号 ☆広地区の人口3月末☆
【編集・発行所】
広まちづくりセンター
〒737-0112
呉市広古新開2丁目1番3号
(電話)71-2151 (FAX)73-5034



わずかに他人より、優れているというだけの知恵や知識が、この時勢に何になるか。そういう頼りにならぬものにうぬぼれるだけで、それだけで歴然たる敗北者だ。偏見を持つな。相手が幕臣であろうと乞食であろうと、教えを受けるべき人間なら俺は受けるわい。
坂本 龍馬

広まちづくりセンターからのお知らせ 6月20日(金)受付開始の短期講座

①夏休み宿題攻略講座「絵画編」 ～ポスターの描き方を学ぼう～

対象 小学生(小学2年生までは保護者同伴)
日時 日程1 8月3日(日) 13:00～16:00
日程2 8月4日(月) 13:00～16:00
※いずれか1日を選んでください。

料金 500円 定員 各日とも15名(先着)

こども向



②夏休み宿題攻略講座「書道編」 ～学年毎の題字と名前をきれいに～

対象 小学生～中学生(小学2年生までは保護者同伴)
日時 7/29(火) 10:00～12:00
料金 900円 定員 15名(先着)

こども向



③ポーセラート*

～ポーセラートで自分だけの『かわいい』を作ろう!～

対象 3歳以上(未就学児は保護者同伴)
日時 7/26(土) 10:00～12:00
料金 400円+別途1000円～2000円
定員 10名(先着)

こどもから大人まで



④己書で手描きうちわを作ろう

己書とは自らが思うがまま、自由に筆を走らせ、自分の世界観を楽しく表現する新感覚の書です。

対象 小学生以上
(小学2年生までは保護者同伴)
日時 7/19(土) 10:00～12:00
料金 900円(保護者不要) 定員 10名(先着)

こどもから大人まで



広文連 春の文化祭 4月12日・13日

「広地区 春の文化祭」が12日(土)・13日(日)の二日間実施されました。例年通り多くの方に足をお運びいただき、ホールでの舞台発表、講座室での作品発表をご覧いただきました。今年度は、3階ホールの舞台発表では、12団体によるパフォーマンスが行われ、年季の入った技の披露や子ども達による活発な動きなど見ていてとても楽しくなるものばかりでした。作品展示は、華道(いけばな)のみ4つの団体からの出品となりました。日々の研鑽の成果を発表していただきました。また、13日(日)には、5階の講座室に“お茶席”を設け、「遠州流茶道広支部」の方からの心を込めてのおもてなしにたくさんの方にお越しいただきました。ご来場いただいた皆さまに改めて厚くお礼申し上げます。ありがとうございました。

文化団体連合会の各団体では、皆様のご参加をお待ちしています。興味のある団体等ございましたら、お気軽にお問い合わせください。

館長・細川



“でんでんむし”は、“出出虫(ででむし)”が語源です。“でで”とは、“出る”の命令形で、“出よ”、“出る”、“出でこい”という意味です。

広まちづくりセンター短期講座 感想をありがとう! ジャムクッキーをつくろう

○くわしく教えてくれた。○たのしかった。○ジャムクッキーが作れてうれしい。○料理を作りたいけんができたこと! ○クッキーの作り方が分かったこと。○友だちと楽しく作ることができたこと。○料理をどんな感じで作るのがよく分かった。○クッキーを作って楽しかった。作り方を学んでよかった。○自分で作れて楽しかった。○参加してよかったことは、クッキーづくりはとくに内容が多かったのとたくさん自分で行動する力がついたと思います。とても楽しかったです。○作ったことのないクッキーが作れてとてもよく知ったことです。○友だちと

たくさん交流ができた。○自分でレシピを見て作ったこと。○あまり作る機会がないから楽しかったです。○クッキーの講座があればまたやりたいです。○今度はケーキをつくりたいです。

ひろ協働センターからのお知らせ

ひろ協働センターでは、“ボランティア募集情報”や“ボランティア・まちづくり・地域に関するイベント情報”の掲示を随時行っています。センター内の展示スペースでは、地域の情報紙や団体の会紙をはじめ、呉市内の地域のマップも展示しています。ボランティアや地域の情報について知りたい方は、お気軽に広市民センター4階の“ひろ協働センター”にお立ち寄りください。

開館時間 9時~17時
休館日 水曜日 問合せ TEL 71-0321



広まちづくりセンター休館日
6月は23日(月)です

71-0321

広スポーツ協会からのお知らせ 第56回 広・近郊卓球大会

日時: 令和7年7月21日(月・祝)9時開始
会場: 呉市総合体育館(シシヨーオークアリーナ)
参加資格:

- (1)広地区及び広地区に隣接する地区(阿賀地区・郷原地区・仁方地区)に在住する者
- (2)広地区の事業所、学校、官公庁、商店等に勤務する者
- (3)広・阿賀・郷原・仁方まちづくりセンター卓球教室生徒及び指導講師等
- (4)広地区及び広地区に隣接する地区(阿賀地区・郷原地区・仁方地区)の学校に在籍する学生・生徒

参加費: 一般の部 500円 中学生以下の部 200円を当日受付にて徴収、当日棄権は参加費を徴収します。

申込先: 広スポーツ協会事務局に所定の申込書を提出してください。

※白色を避け、試合のできる服を着用のこと 71-2151 73-5034

申込期限: 令和7年6月22日(日)

第56回 広地区ジュニアソフトテニス大会

日時: 令和7年6月7日(土)9時~ 開会式
場所: 国立呉工業高等専門学校テニスコート
参加資格:

- (1)高校の部: 広地区の高校に在学する生徒、市立呉高校生および国立呉工業高等専門学校生(3学年以下)
- (2)中学校の部: 広地区の中学校に在学する生徒

参加費 無料 申込締切 令和7年5月20日(火)まで

申込先 広スポーツ協会事務局 71-2151 73-5034

問合せ先 矢津(ソフトテニス部長) ☎73-5351or ☎090-8363-1400

広図書館からのお知らせ

開館時間 9時30分~20時00分
休館日: 木曜日・祝日
6月の休館日:

5日(木)・12日(木)・19日(木)・26日(木)

*ババールのよちよちえほんかい

日時 6月24日(火)10時30分~11時10分
場所 広市民センター6階 和室(604)



ウォーキング大会のお知らせ

◎開催日 令和7年6月17日(火)

◎集合場所 JR 呉ポートピア駅

◎集合時間 午前9時30分

雨天中止

コース 天応アジサイロード 6km

JR 呉ポートピア駅 ~ アジサイロード ~
上城公園(解散 昼食) ~ JR 吉浦駅 ※弁当持参自由

※天候その他の諸事情により、コースが変更になる場合もあります。

広駅	新広駅	呉ポ-トピア駅
8:40	8:43	9:06
8:57	9:00	9:21

*問い合わせ ☎ 堀: 080-1919-6088

*レクリエーション保険加入の為受付で記名願います。

“ひろひろ・ぼ”からのお知らせ 令和7年度 第1回パパ講座

子育てや家族との時間を楽しみたい男性を応援します。

対象 0~2歳児のパパ・祖父とその子ども

日時 令和7年6月21日(土)10:00~11:30

場所 ひろひろ・ぼ 研修室(広市民センター3F)

内容 “パパといっしょにリトミック!”

定員 15名(組) 料金 無料

申込 ※要予約 6月2日(月)から受付
二次元コードからお申し込みください。

問合せ 呉市すこやか子育て支援センター『ひろひろ・ぼ』

電話: 76-1616 メール: kosodate@key.ocn.ne.jp

編集後記 ~“かたつむり”のおはなし~

小さい頃、雨の季節に紫陽花の葉にカタツムリがいる光景をよく見かけた。カタツムリは“でんでん虫”とも呼ばれ、虫ではなく貝の仲間だ。日本のカタツムリの殻はほとんどが右巻きで、左巻きは非常に珍しい。見かけたら注意して観察していただきたい。一般的なカタツムリの移動速度は時速1.3cmだ。1日で31.2cm進むのがやっとである。カタツムリとナメクジは、体つきや動きが似ているが別の生き物だ。カタツムリは生まれつき体の一部として殻を背負っているため殻を取ると死んでしまう。殻のないカタツムリがナメクジではない。公園で見かけたカタツムリだが、近年少なくなっているように感じる。雨の日には、新美南吉(にみなんきち)の“でんでんむしのかなしみ”という絵本を読み返したくなる…。(S.H.)

「でんでんむしのかなしみ」は、自分の殻を「悲しみの象徴」と思い込んでいる中で、仲間もみなそれぞれ悲しみを背負っていることを知る共感と自己理解をテーマとした物語です。